

- 問1 熱帯の中でも、一年を通して気温が高い一方で、降水量の多い時期（雨季）と極端に少ない時期（乾季）がはっきりと分かれている気候を何と
いいますか。丈の長い草原に樹木が点在する景観が特徴の名称を答えなさい。（2026年 埼玉県公立入試 類似）
1. 砂漠気候 2. 地中海性気候 3. 熱帯雨林気候 4. サバナ気候
- 問2 アフリカ州では、かつての植民地時代にヨーロッパ諸国によって開かれた、カカオやコーヒーなどの特定の農作物を大規模に栽培する農園が多
く見られます。このような大農園の名称と、そこで生産される農作物の主な目的の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年
岩手県公立入試 類似）
1. センターピボットー 2. センターピボットー 3. ブランテーションー 4. ブランテーションー
自国内の食料自給をまかなうため 主に国外へ輸出するため 主に国外へ輸出するため 自国内の食料自給をまかなうため
- 問3 2022年におけるアフリカのある国の輸出状況について、輸出総額39億ドルのうち、コーヒー豆が48.9%、野菜が16.3%、切り花が7.4%を占め
ている事例が見られます。このように、少数の一次産品の輸出に経済が過度に依存している状態を何と呼びますか。（2026年 山口県公立入試 類似）
1. フェアトレード 2. ブランテーション農業 3. モノカルチャー経済 4. 輸入代替工業化
- 問4 アフリカ諸国などに多く見られる、カカオや原油といった特定の農産物や鉱産資源の輸出に、国の経済が強く依存している状態を何といいます
か。（2022年 大分県公立入試 類似）
1. モノカルチャー経済 2. フェアトレード 3. ブランテーション 4. 持続可能な経済
- 問5 ナイジェリアでは輸出額の約75%を原油が占め、エチオピアではコーヒー豆や野菜・果実などが輸出の多くを占めています。このような経済状
況にある国々が共通して抱えるリスクとして、最も適切な説明はどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）
1. 先端技術の導入に頼りすぎている 2. 国際市場における産品の価格変動 3. 原材料を輸入して高度な工業製品 4. 関税を完全に撤廃しているため、
ため、労働者の教育コストが国家予算を圧迫する。 が、国の経済全体に大きな影響を及ぼしやすい。 を輸出する形態のため、燃料価格の高騰に弱い。 安価な輸入品によって国内の伝統産業が衰退する。
- 問6 アフリカ諸国に多く見られる「モノカルチャー経済」の特色と課題について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試
類似）
1. 原材料を輸入して高度な工業製品を製造・輸出する構造であり、国際価格の影響を受けにくい安定した経済である。 2. 複数の農産物や工業製品をバランスよく輸出することでリスクを分散しており、世界不況の影響を受けにくい構造である。 3. 輸出の大部分を機械類や自動車などの工業製品が占めており、国内総生産（GDP）は欧米諸国と同水準にある。 4. 特定の資源や農産物の輸出が中心となっており、その品目の国際価格が下落すると国全体の経済に大きな打撃を与える。
- 問7 アフリカ大陸の地図を確認すると、サハラ砂漠周辺や大陸南部などの地域において、国境線が定規で引いたような直線になっている国が多く見
られます。このように、地形や民族の居住範囲を無視した人為的な境界線が引かれた歴史的な背景として、最も適切な説明を選びなさい。
（2015年 長野県公立入試 類似）
1. アフリカ諸国が独立する際に、砂漠地帯での領土紛争を防ぐ目的で、各国の代表者が合意の上で河川や山脈に沿って線を引き直したため。 2. 地下資源の埋蔵場所を正確に分割して不公平をなくすために、第二次世界大戦後に国際連合が主導して直線的な境界を設定したため。 3. 古くからこの地に住む複数の民族が、それぞれの伝統的な居住地域を明確に区別するために、共通のルールとして緯線や経線を用いたため。 4. かつての宗主国であったヨーロッパ諸国が、現地の事情を考慮せず、経緯線などを利用して植民地の境界を定めたため。
- 問8 ナイジェリアは1991年に首都を、かつての首都である沿岸部のラゴスから内陸のアブジャへと移転しました。アブジャが新たな首都として選ば
れた理由として、人口の過密化を解消すること以外に、どのような政治的な目的がありましたか。（2022年 岩手県公立入試 類似）
1. 旧宗主国であるイギリスとの経済的なつながりを強化し、貿易の拠点としての機能を高めるため。 2. 特定の主要民族の居住地ではない中立な場所に首都を置くことで、民族間の争いを抑制するため。 3. 砂漠化が進行するサハラ砂漠周辺の住民を定住させ、環境保護に向けた新たな行政拠点を作するため。 4. 石油資源の豊富な南部の沿岸地域からあえて離れることで、農業中心の国家へと経済構造を転換するため。
- 問9 ナイジェリアのように、輸出総額の大部分を原油や石油製品などの特定の資源に依存する経済構造を「モノカルチャー経済」と呼びます。この
ような経済構造を持つ国が抱える課題についての説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 静岡県公立入試 類似）
1. 人口が多いため国内での資源消費量が多くなり、輸出に回す余力がなくなる。 2. 特定の資源の採掘に特化することで、他国との貿易摩擦が激化しやすくなる。 3. 工業化が進んでいないため、原油を精製して石油製品として輸出することができない。 4. 資源の国際価格が変動することで、国の経済全体が大きな影響を受けやすい。
- 問10 アフリカ大陸の国々の多くは、特定の農産物や鉱産資源の輸出に依存するモノカルチャー経済の傾向がありますが、南アフリカ共和国はそれら
の国々と比較して、貿易構造にどのような特徴がありますか。最も適切な説明を選んでください。（2021年 徳島県公立入試 類似）
1. 輸出の大部分を原油や天然ガスなどのエネルギー資源が占めている。 2. 輸出総額に占める、機械類や自動車などの工業製品の割合が非常に高い。 3. コーヒーやカカオといった、特定の熱帯作物の輸出に特化している。 4. 国内の工業化が遅れているため、原材料のみを輸出して製品を輸入している。
- 問11 アフリカにおける米の需給状況について、2019年から2021年の平均では、生産量が約2450万トンであるのに対し、消費量は約4060万トンと
なっています。2032年の予測では、生産量は約3170万トンに増加すると見込まれていますが、同時に食料問題としての課題も指摘されていま
す。この予測に基づいた今後の動向として、最も適切なものはどれですか。（2026年 新潟県公立入試 類似）
1. 生産量と消費量の差が縮まるため、米の自給率が改善し輸入の必要がなくなる。 2. 生産量が消費量を上回るようになるため、余った米を域外へ輸出できるようになる。 3. 人口減少によって消費量そのものが減少するため、需給ギャップは自然に解消される。 4. 消費量の伸びが生産量の伸びを上回るため、域外からの輸入への依存がさらに強まる。
- 問12 西アフリカの国々では、特定の農産物や鉱産資源の輸出が国家経済において大きな割合を占めています。2017年の統計において輸出額の約28%
をカカオが占めるコートジボワールや、2018年の統計において輸出額の8割以上を原油が占めるナイジェリアのように、少数の産品の輸出に過
度に依存する経済体制を何と呼びますか。（2024年 沖縄県公立入試 類似）
1. 知識集約型産業 2. ブランテーション農業 3. 輸入代替工業化 4. モノカルチャー経済

答え合わせ・解説

問1	答え 4 サバナ気候	赤道に近い熱帯において、一年中雨が降る熱帯雨林気候とは異なり、明瞭な雨季と乾季を持つのが特徴です。乾季には植物が枯れるため、背の高い草が生える草原（サバナ）に、乾燥に強い樹木がまばらに生える独特の景観が形成されます。
問2	答え 3 プランテーション 主に国外へ輸出するため	ヨーロッパ諸国による植民地支配を受けていた時代に、カカオやコーヒー、茶、天然ゴムといった特定の作物を効率よく生産するために作られた大規模な農園をプランテーションと呼びます。これらの作物は現地の人々が消費するためではなく、ヨーロッパなどの先進国へ売る「輸出」を目的に栽培されており、その構造が独立後の現在も多くの国で続いています。センタールピボットは、地下水にスプリンクラーを回転させて散水する乾燥帯の灌漑農法を指すため、文脈が異なります。
問3	答え 3 モノカルチャー経済	特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼り切った経済構造を指します。アフリカの多くの国々は植民地時代の影響などから、コーヒー、カカオ、銅といった特定の一次産品を輸出の柱としている場合が多く、この名称で呼ばれます。
問4	答え 1 モノカルチャー経済	かつての植民地支配の影響などにより、特定の少数の品目の輸出に頼らざるを得ない経済構造を指します。語源の「モノ」は「単一の」という意味を持ち、多角化されていない経済体制であることを示しています。大規模農園を指すプランテーションと混同されやすいですが、こちらは生産体制の仕組みを指す用語です。
問5	答え 2 国際市場における産品の価格変動が、国の経済全体に大きな影響を及ぼしやすい。	特定の一次産品に頼る経済構造では、その品目の国際価格が暴落したり、農産物の場合は不作に見舞われたりすると、国全体の輸出額が激減し、国家財政や国民生活に深刻な打撃を与えることとなります。
問6	答え 4 特定の資源や農産物の輸出が中心となっており、その品目の国際価格が下落すると国全体の経済に大きな打撃を与える。	ナイジェリアの原油やザンビアの銅のように、輸出の7割以上を特定の1品目に頼る傾向があります。このように輸出の中心が資源に偏っているため、自国の努力だけではコントロールできない世界情勢や国際価格の変動によって、国の収入が激減するリスクがあります。また、こうした国々は先進工業国と比べて国内総生産（GDP）が低いことが一般的です。
問7	答え 4 かつての宗主国であったヨーロッパ諸国が、現地の事情を考慮せず、経緯線などを利用して植民地の境界を定めたため。	19世紀後半以降、ヨーロッパ諸国はアフリカの植民地化を進める中で、ベルリン会議などを通じて互いの勢力圏を決定しました。その際、現地の民族分布や文化、歴史的なつながりを無視し、地図上で管理しやすい経線や緯線などの数値を基準にして機械的に境界を引きました。この直線的な国境は、独立後もそのまま引き継がれたため、同じ民族が複数の国に分断されたり、対立する民族が一つの国に共存したりすることになり、現代まで続く地域紛争や内戦の大きな要因となっています。
問8	答え 2 特定の主要民族の居住地ではない中立な場所に首都を置くことで、民族間の争いを抑制するため。	ナイジェリアは1960年の独立後、複数の民族が対立して激しい内戦（ビアフラ戦争）を経験した歴史があります。旧首都のラゴスは特定の主要民族の居住域の端に位置していたため、他民族からの反発を招きやすい状況にありました。そこで、国土のほぼ中央に位置し、かつ特定の主要民族の居住地ではない地域に新首都を建設することで、政治的中立性を保ち、国内の民族間の争いを抑制する狙いがありました。
問9	答え 4 資源の国際価格が変動することで、国の経済全体が大きな影響を受けやすい。	モノカルチャー経済は、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済構造を指します。ナイジェリアの場合、輸出の9割以上が石油に関連する資源であるため、世界情勢の変化などで原油価格が暴落すると、国家の財政や国民の生活が極めて不安定になるというリスクを抱えています。これを克服するために、産業の多角化が課題となっています。
問10	答え 2 輸出総額に占める、機械類や自動車などの工業製品の割合が非常に高い。	南アフリカ共和国はアフリカ大陸屈指の工業国として知られています。多くの近隣諸国が資源や農産物の輸出に頼るなか、同国は高度な技術を要する工業製品の生産に力を入れており、貿易統計においても機械類、自動車、航空機といった製品が輸出の上位に並ぶことが大きな特徴です。
問11	答え 4 消費量の伸びが生産量の伸びを上回るため、域外からの輸入への依存がさらに強まる。	アフリカでは人口増加や食生活の変化により、米の消費量が急速に拡大しています。資料の数値を見ると、2032年には生産量も増加しますが、消費量はそれ以上のペースで増加（約5780万トン）すると予測されています。その結果、需給の差（不足分）は1610万トンから2610万トンへと拡大するため、不足を補うための輸入への依存がより深刻化することが懸念されています。
問12	答え 4 モノカルチャー経済	アフリカの多くの国々では、植民地時代の歴史的背景などから、特定の農作物や鉱産資源の輸出に頼る「モノカルチャー経済」が形成されてきました。コートジボワールのカカオやナイジェリアの原油はその典型的な例です。この経済構造は、国際価格の変動や天候による収穫量の増減が、国家の財政や国民の生活に直接的かつ甚大な影響を及ぼすという不安定さを抱えています。